



70

陸奥国石川郡大隈瀧芭蕉翁碑之図

句集『青かけ』の挿図

文化11年甲戌(1814年)

紙本銅版・冊子

21.7×28.6

右に：「陸奥国石川郡大隈瀧芭蕉翁碑之圖 文化十一年甲戌五月 亞歐田善製」

(太田貞喜コレクション 泉重文)



句集『青かけ』表紙

内題は『青蔭集』 石井雨考 編

大隈の瀧は 名に負う阿武隈川の流れ  
 にして 掛涯よりみなぎり落ちる飛泉 その  
 幅百間にもあまれり 国々名高き瀧  
 も多かれど かくはたはりの広きはさらに  
 き、も及ばず そこに翁の句あり  
 この句おおくの細みちののせず  
 のちにしのふ摺といふ集にあり  
 さいつ頃人々を催して  
 かの句を石にえりて 川の傍らに建たり  
 そのけしきことばにも及ばぬは 田善翁に  
 あつらへて 西洋の銅板といふものに 真景を  
 うつさしめ 我辺境に是らの風色ある  
 事を知る人稀なれば よき序と  
 おもひて世の人に披露す  
 (句集『青蔭集』より抜粋)